

# 為

イ

9画  
ソ  
夕  
夕  
為  
為

**なりたち** 旧字体は爲。爪(つめ)の形をかたどり手の意味を表す(つめかんむり)と象との会意字。「手で象を操ること」を表した字。象を手なずけて人の「為(成)」を図ること。転じて、物事を「なす」こと。また、「なる」こと。



**いみじゆくこ**  
▼為(成) (利益)。  
▼なす。行う。なる。  
▼作爲：作りなす、の意味で、人に良く見せるための作り事をいう。本当らしく作つたことらえごと。

人為：人がなすこと。また、人の仕業。自然のままにせず、人手を加えること。  
行為：行い。特に、しようという意志を持つてなす行いをいう。  
無為：作爲が無いこと。自然のまま。転じて、仕事をしないで無駄に日を送ること。  
有為：大いになす事があるの意味で、役に立つ才能があることをいう。  
為政者：政権をにぎり、政治を行う人。  
**さんこう** 特別なよみかた↓  
為替

# 為

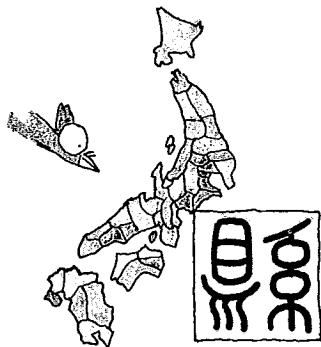
為

# 県

ケン

9画  
口  
月  
目  
目  
阜  
阜  
県

**なりたち** 旧字体は縣。懸(けん)の本字。首を逆にした形の県と、紐(ひも)の意味の系との会意字。斬首刑(せきしゅ)の首を紐で結んで木に懸けることを表した字。畎(うん) (田)の仮借(かじ)から転じて、行政区画の名称になった。



**いみじゆくこ**  
▼懸ける。  
▼行政区画の名称。  
▼県下：県の支配下に在る土地の意味。県の管轄にある土地の全域。全県。  
▼県庁：県の行政事務を行う役所。

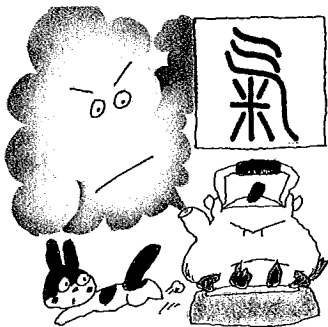
県道：県の費用で管理する道路。  
県民：県の住民。  
県議：県議会議員のこと。  
県立：県の費用で設立し管理すること。また、その施設。  
**例** 県立高校  
県営：県が経営すること。また、県の経営する施設。**例** 県営競技場  
郡県：郡と県。「郡」は都道府県・県の下の行政区画の名称。市と並んで、町や村の上にある。  
**よみかた** 県政・近県・全県

# 気

キ・ケ

6画  
ノ  
一  
ヒ  
气  
气  
气

**なりたち** 旧字体は氣。蒸氣の意味を表した气(象形字)と米との会意形声字。米を蒸気で蒸すことを表した字。単に「蒸氣」の意味に用いられ、転じて、「目に見えない力」の意味に用いられる。



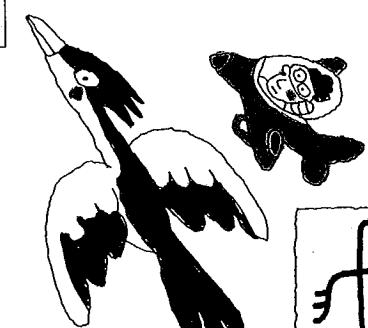
**いみじゆくこ**  
▼蒸氣。  
蒸氣：液体が蒸発してできる気体。水蒸氣。  
気体：「体」は姿の意味。蒸氣のような姿のもの、という意味で、一定の形、体積を持たず自由に流動するもの。  
▼目に見えない力(働き)。優れた心の働き。心。  
電気：雷によって生ずる力(エネルギー)を表した語。  
根気：根強い心(精神力)。  
気品：気高い品位。どこなく感じられる上品さ。  
気力：心の力。精神力。  
▼様子。  
天気：天の様子。空模様。  
気候：ある土地の平均的な気温・雨量などの天気の状態。  
**よみかた** 気象・気配・勇気  
**さんこう** 特別なよみかた↓  
意気地・淨気

# 飛

とぶ・とぼす

9画  
フ  
フ  
飛  
飛  
飛

**なりたち** 鳥が翼を広げて飛ぶ形をかたどり、「飛ぶ」ことを表した指事字。「飛ぶ」こと。「跳びはねる」こと。また、「飛ばす」こと。転じて、「速く走る」こと。



**いみじゆくこ**

▼飛ぶ。  
飛来：飛んで来ること。  
飛行：空中を飛んで行くこと。  
飛鳥：空を飛ぶ鳥。  
飛散：飛び散ること。  
飛躍：飛び上がること。「躍」は鳥が飛び上がること。転じて、大いに活躍すること。また、急に進歩・発展すること。  
▼活躍すること。  
雄飛：雄々しく(勇ましく)活躍すること。  
**用例** 海外に雄躍する。

飛船：速く走る船。  
飛脚：速く走る脚の意味で、手紙や品物を遠くへ送る時の昔の方法。また、送り届ける人。  
**よみかた** 飛び石・飛び入り・飛球・飛車・高飛び・突飛

# 気

飛